

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成21年11月5日(2009.11.5)

【公開番号】特開2008-178726(P2008-178726A)

【公開日】平成20年8月7日(2008.8.7)

【年通号数】公開・登録公報2008-031

【出願番号】特願2008-109219(P2008-109219)

【国際特許分類】

D 0 6 F 33/02 (2006.01)

D 0 6 F 25/00 (2006.01)

【F I】

D 0 6 F 33/02 L

D 0 6 F 25/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成21年9月10日(2009.9.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

外箱と、

前記外箱内に配設する外槽と、

自身の壁面に脱水孔を有し、前記外槽内に回転自在に設けられる洗濯兼脱水槽と、

前記洗濯兼脱水槽の内底部に配設する回転翼と、

前記回転翼および前記洗濯兼脱水槽を回転駆動させることが可能なモータと、

前記洗濯兼脱水槽内と連通する加熱装置および送風機と、

洗濯物の脱水行程後に行う乾燥行程時に前記加熱装置および送風機から発生する温風を前記洗濯兼脱水槽内へ案内するフレキシブルチューブと、を有し、

洗濯物の脱水行程後、前記モータにより前記回転翼を第 1 の所定量回転させた後に、前記回転翼を第 2 の所定量回転させるようにし、

前記回転翼の第 1 の所定量回転させるときの回転角度を前記第 2 の所定量回転させるときの回転角度よりも大きくしたことを特徴とする洗濯乾燥機。

【請求項 2】

前記回転翼を前記第 1 の所定量回転させることにより、前記洗濯兼脱水槽の内壁面に張り付いた洗濯物を掻き落とし掻き落とし動作を行い、前記第 2 の所定量回転させることにより、前記洗濯兼脱水槽内の洗濯物を解す解し動作を行うことを特徴とする請求項 1 記載の洗濯乾燥機。

【請求項 3】

外箱と、

前記外箱内に配設する外槽と、

自身の壁面に脱水孔を有し、前記外槽内に回転自在に設けられる洗濯兼脱水槽と、

前記洗濯兼脱水槽の内底部に配設する回転翼と、

前記回転翼および前記洗濯兼脱水槽を回転駆動させることが可能なモータと、

前記洗濯兼脱水槽内と連通する加熱装置および送風機と、

洗濯物の脱水行程後に行う乾燥行程時に前記加熱装置および送風機から発生する温風を前記洗濯兼脱水槽内へ案内するフレキシブルチューブと、を有し、

洗濯物の脱水行程後、前記モータにより前記回転翼を第 1 の回転時間回転させた後に、前記回転翼を第 2 の回転時間回転させるようにし、前記回転翼の前記第 1 の回転時間を前記第 2 の回転時間よりも大きくしたことを特徴とする洗濯乾燥機。

【請求項 4】

前記回転翼を前記第 1 の時間回転させることにより、前記洗濯兼脱水槽の内壁面に張り付いた洗濯物を掻き落とす掻き落とし動作を行い、前記第 2 の時間回転させることにより、前記洗濯兼脱水槽内の洗濯物を解す解し動作を行うことを特徴とする請求項 3 記載の洗濯乾燥機。

【請求項 5】

前記乾燥行程は、洗濯物の乾燥が未終了な場合、前記掻き落とし動作または前記解し動作に再び戻ることを特徴とする請求項 2 または 4 に記載の洗濯乾燥機。

【請求項 6】

前記掻き落とし動作における前記回転翼の一方向の回転動作による慣性回転時に、回転翼を他方向へ強制的に回転するようにしたことを特徴とする請求項 2、4 および 5 のいずれかに記載の洗濯乾燥機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

この発明に係わる洗濯乾燥機は、外箱と、前記外箱内に配設する外槽と、自身の壁面に脱水孔を有し、前記外槽内に回転自在に設けられる洗濯兼脱水槽と、前記洗濯兼脱水槽の内底部に配設する回転翼と、前記回転翼および前記洗濯兼脱水槽を回転駆動させることが可能なモータと、前記洗濯兼脱水槽内と連通する加熱装置および送風機と、洗濯物の脱水行程後に行う乾燥行程時に前記加熱装置および送風機から発生する温風を前記洗濯兼脱水槽内へ案内するフレキシブルチューブと、を有し、洗濯物の脱水行程後、前記モータにより前記回転翼を第 1 の所定量回転させた後に、前記回転翼を第 2 の所定量回転させるようにし、前記回転翼の第 1 の所定量回転させるときの回転角度を前記第 2 の所定量回転させるときの回転角度よりも大きくしたものである。

また、この発明に係わる洗濯乾燥機は、外箱と、前記外箱内に配設する外槽と、自身の壁面に脱水孔を有し、前記外槽内に回転自在に設けられる洗濯兼脱水槽と、前記洗濯兼脱水槽の内底部に配設する回転翼と、前記回転翼および前記洗濯兼脱水槽を回転駆動させることが可能なモータと、前記洗濯兼脱水槽内と連通する加熱装置および送風機と、洗濯物の脱水行程後に行う乾燥行程時に前記加熱装置および送風機から発生する温風を前記洗濯兼脱水槽内へ案内するフレキシブルチューブと、を有し、洗濯物の脱水行程後、前記モータにより前記回転翼を第 1 の回転時間回転させた後に、前記回転翼を第 2 の回転時間回転させるようにし、前記回転翼の前記第 1 の回転時間を前記第 2 の回転時間よりも大きくしたものであってもよい。